

～世界は音楽で リンクする～

全盲で車椅子のミュージシャン

山下純一 ソロライブ

(10 ホールズハーモニカ・ボーカル・パーカッショニスト)



報告

全盲で車椅子のミュージシャン～山下純一ソロライブ

日時：2020年9月6日（日） 18：00 開場 18：30 開演

場所：ひこね市文化プラザ エコーホール

主催：彦根おやこ劇場 後援：彦根市/彦根市教育委員会

第70回彦根市秋の文化祭協賛事業

青年・大人対象に開催した「山下純一ソロライブ」。山下氏のエネルギッシュで味のあるハーモニカの音色、巧みなドラムさばき、心にしみる歌声に魅了された。

今も進行中の障害を抱えながらも、「おもしろいこと」に挑戦しつづける、前向きで明るい山下氏。その山下氏からあふれ出る音楽とお話は、会場にいる誰の胸にも深く響いたのではないだろうか。

コロナ禍での公演実現にむけ、山下氏をはじめ、山下氏のサポーター、ひこね市文化プラザのスタッフのご協力のもと、感染防止対策を徹底し、無事に公演を行うことができた。



山下純一氏プロフィール

全盲で車椅子のミュージシャン。

2000年から2010年までグループで音楽活動を行った後、現在はソロで活躍している。手も不自由ながら様々な楽器を独自の奏法で演奏するが、中でもブルースハープ(10ホールズハーモニカ)は世界ハーモニカ連盟日本支部が主催するブルースハープコンテストで優勝という、堂々の日本一に輝いている。

障害者ミュージシャンの全国規模のコンテスト、ゴールドコンサートでもグランプリ、更にグランドチャンピオンにもなっている。



山下純一のパリアフリーFUNK from ラジオ大阪

ラジオ大阪 OBC AM1314kHz | FM91.1MHz

毎週土曜日 27:00-27:15

聞き逃した方は「radiko.jp」で山下純一を検索！

※「山下純一 Official WEB site 全盲で車椅子のミュージシャン」より抜粋

山下氏との出会い

2020年2月、「全盲で車イスのミュージシャン山下純一」を取材したNHKのハートネットTVでドキュメンタリー番組として放送された。

「この人すごいやん！」画面にくぎ付けになった。「この人に会ってみたい、音楽を生で聞いてみたい」映像を観た彦根おやこ劇場の仲間たちの思いが一つになった。

コロナ禍での公演実現にむけ、感染対策を徹底

コロナ禍となり、一度は、全ての活動を諦めざるを得なかったが、7月緊急事態宣言解除後、改めて、公演開催にむけ動きだす。日々、変化する感染状況を把握しながら、誰もが安心して参加できる公演を目指し、山下氏や施設側のスタッフとともに、感染防止対策の協議を重ねた。

【事前対策】

- ・打ち合わせは、密を避けるために、電話、ZOOM、LINEを利用。
- ・当日、感染拡大の為、やもなく会場での公演が出来ない場合は、ZOOMを利用した公演（事前交流会）も視野に、同時進行で準備を進める。
- ・国、県のマニュアルをもとに、感染防止マニュアルを作成し、チラシやメーリングを通じ、マスク着用や検温など、参加者へ感染防止対策の協力を呼びかける。
- ・予定していた会場（メッセホール）から、より広いエコーホールに会場を変更。
- ・山下氏の移動手段の検討。（車 or タクシー利用 or 電車）



チラシ:彦根市内の公共施設等にて、チラシ配布、置きチラシにご協力をいただいた。



【当日対策】会場の感染防止対策の徹底。

- ・ 座席間隔は1 M 以上を確保（前後左右、1 席以上間）
- ・ 入り口での検温、手指消毒の徹底。
- ・ 参加者へ、マスク着用を徹底してよびかけ。
- ・ 受付等、密をさけるようよびかけ。
- ・ 公演後、座席、使用機器の消毒の徹底。



司会は、彦根おやこ劇場の青年と大人。
ソーシャルディスタンスを保ちながらも、山下氏との漫才さながらの掛け合いトークを展開！

演奏曲目 山下純一氏、オリジナル曲

閃光 / Move! / 世界は音楽でリンクする /
So happy / まだやれる / 新天地 / Imagine

公演後、山下さんと思いを共有

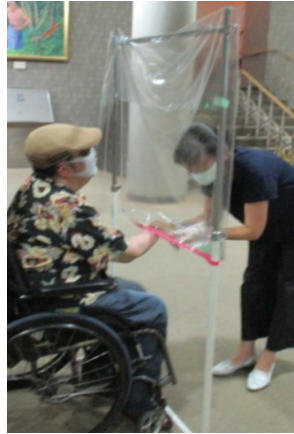
コロナ感染対策をするが故に、公演中、共に大きな声で歌ったり、歓声を上げたり、沸き起こる思いを山下さんと共有することは難しい状況。せめて、公演後、完全な対策を行った上で、山下さんとの握手会が出来ないかと検討を重ねた。

当日の握手会は、山下氏の前にビニールシートを設置。互いに消毒、手袋を着用の上、握手会を開催した。コロナ禍ではありえない光景。ビニール手袋越しではあるが、山下さんと互いの手のぬくもりを感じ公演の感動を分かち合った。





ビニール手袋、消毒をして…



公演を終えて

山下さんとの握手会も、会場変更も、山下さん移動手段も、ZOOM利用案も、今回の例会は、コロナのせいで悩まされ、大変なこともあったが、振り返ると、それらがあつたからこそ、新しい視野が広がったり得たこともあった。あきらめず、誠実にやれば、必ず道は開ける。それを確信した取り組みだった。

【参加者の感想】



・全ての歌の歌詞が胸にささりました。‘できることできないこと’…自分を信じてまだやれる！山下さんの活動そのものが生き様なのですね。平々凡々とその日を暮らしている自分にも、「まだやれる！」こと見つけて「生きる」ことを充実させたいと感じました。ステキな演奏とステキな歌詞、メロディありがとうございました。

・べたですが、TV で見た人や〜と実物にまず感動。パーカッションの、その軽い響きに感動。ハーモニカってこんな豊かな音が奏でられるんだと感動。握手したとき、こんな柔らかい手で演奏されていたんだと、山下さんの音楽への情熱に感動。久しぶりに皆に会えてこれまた感動。感動に包まれた幸せな時間でした。人生にしっかりと今日の時間を刻んでおきます。

・音楽は不思議で面白くて最高だな。と改めて思った。メロディーも歌詞も人が思ってること、考えてることを全て完璧に表すには不完全なものだけど、だからこそ、必ずしもパーフェクトじゃない人間が何かを表すには、とてもびったりなものなのかなって思う。色々な曲をきいて、それぞれに色んなことを思ったけど、全体を通してすごく安心できるような感覚があったのが印象的で感想を書いている今でもなぜか、その感じが心にずっと残っている気がする。コロナウイルスとか台風とかで、くるかどうか迷っていたけど、今はきてよかった、と間違いなく思える。ありがとうございました。

◆彦根おやこ劇場とは◆

子どもの健全な成長発達を願って1990年彦根に生まれた社会教育団体。優れた舞台芸術鑑賞と、野外活動やあそびの会、親子サークル活動、大人の学習会など、様々な活動を通して、子どもも大人も仲間と共に成長していくことを目指しています。